

学校の教育目標

かしこく ゆたかに たくましく 未来を拓く東の子

目指す学校像

今日が楽しい、明日も行くのが待ち遠しい学校

学校の課題

学校・地域の連携強化

羽島郡二町の方針

様々な関わりの中で学び、社会の一員として貢献できる社会人の育成

目指す子どもの姿

《合言葉》

自分から

最後まで

「わたしは、〇〇(生き方)のために〇〇をがんばっています。」と、自分の夢や目標の実現に向かって、いつもよく考えて自分から行動する子

「ありがとう」「ごめんなさい」「ただいま」「おかえり」と、素直に気持ちが表現できるとともに、「ありがとう」と言ってもらえるように、相手を思いやり、みんなや自分のために最後までやり抜く子

様々な関わりの中で学び、社会の一員として貢献できる社会人の育成

◇自らの意思をもち、他者との協働を通して、願いの具現に向けた実践力の育成

◇学校・家庭・地域・行政の役割を明確にし、共有した目標具現に向け、各々の強みを生かした連携が図られた教育の推進

指導の重点

《東小きずな宣言》わたしたちは、笑顔いっぱい、あたたか言葉いっぱい、人を大切にする学校をめざします。ひとりぼっちになるいじめはしませんさせません がんばる仲間と自分を大切にします しあわせにするあたたか言葉を使います

4つの宝：あいさつ・だまって掃除・ボランティア・スマイル活動

かしこく（知）	ゆたかに（情・意）	たくましく（体）
■「分かった・できた」の実感と確実に力が付く授業の創造 ・「授業マニフェスト4」の確実な実践 ・ペアやグループで考えを交流する場の確保と深い学びに向かう指導の工夫（授業改善） ・ICTの活用と情報活用能力の育成 ・1人1台端末の教科指導や家庭学習等における活用 ■発達の段階に応じた学び（学び方）を身に付けさせる指導 ・「聴く・話す・読む・書く」など言語活動を充実させる指導と、東小ネオスタンダードの徹底（見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう児童の育成） ・総合的な学習の時間（岐南に生きる）や生活科を中心としたふるさと教育の推進と生き方指導の更なる充実 ・幼保小の円滑な接続を図るスタートカリキュラムの更なる充実	■子供に「居場所」と子供同士の「絆」がある学級づくり ・東小きずな宣言を基盤にいじめを許さない望ましい人間関係の構築と自己指導能力の育成 ・自己肯定感と自己有用感をもたせるための活躍の場を位置付け、役割をやりきらせ、ほめて自信をもたせる指導の継続 ■特別活動の充実 ・自ら考え、自ら活動する主体性や創造性の育成と、話し合って諸問題を解決する指導の充実 ・「4つの宝」のあいさつ・だまって掃除・スマイル活動・ボランティアの値打ちがわかる日常活動の充実 ■道徳的実践力の育成 ・自己を見つめ、生き方についての考えを深める道徳の授業の実践	■運動の日常化と体力の向上 ・年間を通した体力づくりの推進（元気タイムの活用、全校体力づくり等） ・運動量を確保した、楽しい体育授業の更なる充実 ■健康管理意識の向上 ・基本的な生活習慣を身に付け、食育と眠育を大切にしたい指導の充実 ・自己健康管理ができる力を養う指導の充実（生活習慣病や感染症の予防の徹底） ■危機管理意識の向上 ・様々な命を守る訓練の実施、情報モラルの徹底等、家庭と連携した安全指導の充実（危機管理マニュアルの随時見直し） ・廊下歩行、遊具使用等の安全指導の徹底 ・交通ルールや公共施設等でのマナー遵守 ・性に関する指導内容、指導方法の改善

■「一致団結、きらり輝く・チーム東小」

徹して子供に寄り添う

教師が学び児童が伸びる東小に！

熱意をもって事に当たる

誠意をもって人に接する

創意をもって指導に臨む

■保護者や地域に愛され、信頼される学校

・子供のよさの積極的な情報発信（学校だより、学年・学級だより、ホームページ、電話など）

・学校運営協議会（CS）を核とした地域人材の積極的、計画的な活用

・関係諸機関との日常的な連携の継続

・学校評価を推進し、結果の公開と適切な改善の実施